

読書に親しむ機会の提供

1 活動の概要

読書への関心を高められるように、また、そのために図書館を活用できるよう、乳幼児から高校生・保護者・教員という幅広い利用者に対して学校図書館は、必要とされている資料や情報の提供に努めつつ、様々な機会をとらえて本に親しむ機会を作り、読書活動の推進を目指している。

2 活動の状況、実際

【 平塚市図書館の利用 】

○出前図書館

移動図書館が、毎月1回巡回。

主に幼稚部・小学部の幼児・児童が利用している。

○団体貸出

平塚市図書館の本を200冊ほど借用し、本校図書館で貸出をしている。入れ替えは年に3回。

【 教職員からの働きかけ 】

着任した教職員がおすすめの本を紹介する冊子『夏休みにすすめる本』を作成、配付している。授業の成果物を図書館で展示・貸出している。

【 幼稚部・小学部での絵本読み 】

ボランティアの方に手話での絵本読みを依頼している。

【 児童・生徒の活動 】

○小学部 児童が選んだおすすめ本を、小学部の集会で紹介している。

読書ビンゴに取り組み、いろいろな本を読んでもみる機会を設けている。

○中学部・高等部 秋、読書週間を設定し、全員が読書をする時間をつくっている。

図書委員が、顧問、学校司書と一緒に、団体貸出の選書を担当している。

【 寄宿舍 】

寄宿舍で、担当職員と学校司書でピックアップした本を展示。学期ごとに入れ替えている。

【 読書相談 】

探している本や読みたい本の相談を、学校司書が受け、購入や他館からの借用による資料の用意に努めている。



移動図書館 外観と車内



文集など授業の成果物

3 参加者、指導者等の声

【利用者】

- ・移動図書館や絵本読みを、楽しみにしている。
- ・読みたい本を学校図書館にリクエストできる。
- ・保護者も貸出が利用できる。

- ・学校図書館に行く時間を定期的に設けて、児童たちが読みたい本を選んで読んでいる。
- ・協力して読書の機会を増やすよう努めたい。

【教諭・学校司書】

館内風景

